



エコ・レンジャー通信

2025/6月号



クラブ活動

エコ・ハウスでは、R7年度、3つのクラブが活動しています。

エコ・サイエンスクラブ

今年度は、小学4～6年生 7名で活動しています。講師の立石先生は、今年も絶好調！おもしろいお話がとまりません。

第1回 5月11日「酸とアルカリ」
使った試薬は、BTB溶液のほか、園内採集のツツジから自分で作ったツツジ液。酢、レモン水、灰汁、せっけん水の色の変化を調べました。



第2回 6月13日「真空実験」
真空ポンプやドームを使って、気圧や温度の変化を実験。

《これからの予定》

第3回 7月20日「伊方発電所見学」

第4回 9月14日「光と色の三原色」

*8月はお休みです。

新科学工作道場

小学5年生から中学2年生までの、親子7組で活動しています。講師は立石先生。はんだの基礎から学んでいます。

第1回 5月11日
「リモコンランタンづくり」
はんだの仕組みや使い方の基礎を学んだあと、実際にはんだを使って、リモコンランタンの組み立てに挑戦しました。



《これからの予定》

第2回 7月13日

第3回 9月13日

「ダイナモチューブラジオづくり」

エコ・チャレンジクラブ

今年度は申し込みが多かったので、AとB、2つにわかれて活動しています。クラブ活動を通して、自分なりの「エコライフ」を見つけるのが目標。

第1回 A 5/17 B 5/24
「みそづくり」

家族で協力して、味噌を仕込みました。11月にはこれを使って、お味噌汁を作る予定です！



第2回 A 6/21 B 6/24
「みつろうラップ」

環境月間にちなんで、みつろうラップを作りました。毎日の暮らしから、少しでも廃棄プラスチックが少なくなることを願って。



《これからの予定》

第3回 A 7/19 B 7/26

「草木染」

第4回 A 8/16 B 8/23

「アイスづくりとトルネー実験」

ふれあいの池ビオトープ

「ビオトープ」は、ギリシア語で「命、生命」を意味する「bio」と、「場所」を意味する「topos」を組み合わせで作られた言葉といわれています。もともとは「特定の生物が生存可能となる環境条件を整えた空間」をさしますが、ざっくり「生き物の生息空間」ととらえられることが多いようです。

「ふれあいの池」は、平成10年(1998年)にえひめこどもの城が開園したときに作られた池です。えひめエコ・ハウスが開館したのは平成15年(2003年)。そのころから職員が少しずつ手を入れて、水辺にすむ生き物を観察できるような環境をつくってきました。平成30年(2018年)7月に西日本豪雨がおこり、「ふれあいの池」にも大量の土砂が流れ込みました。大きな機械をいれるのが難しいので、こどもの城とエコ・ハウスの職員が力を合わせて少しずつ土砂を掘り、取り除いて、今の形になりました。

